



2025年10月1日
加藤学園暁秀中学校・高等学校
一木 紘

MYPの学びがどのようにDPにつながるのかーJapanese A の実践をもとにー

IBに携わって十数年、最近はDPの授業がメインになってしまっていますが、「私はMYPが大好きです！」と、声を大にして伝えたいです。これまでの授業と生徒の成長を振り返って、MYPの創造的な活動ができるある意味での自由度が、生徒の思考力や協調性、探究心、行動力を伸ばしていると実感しているからです。そして何より、私自身授業が楽しいのです。

今回は、MYP/ Japanese A Language & Literature の授業をご紹介しながら、MYPの学びがDPにどのようにつながり、生かされていくのかをお伝えできればと考えています。

【事例1】

対象：MYP Year4 (中学3年)

ユニット：メディア読解「広告」

重要概念：コミュニケーション

探究ステートメント：説得力のあるビジュアルテキストは、私たちの行動や意思決定に影響を及ぼすことを意図したデザインを用いる。

<ユニットの構成>

構成	活動内容	目安時数
分析パート	1 SOGOの正月広告(2020年炎鵬閣) ▶ 同じテンプレで文を作る	1
	2 キャッチコピーの分析 ▶ 学校のPR用コピーをつくる	3
	3 新聞というメディア特性＆広告の種類と分析観点を知る	1
	4 正月新聞一面広告をグループで分析する	4
	5 プrezentーション&全体ディスカッション	2.5
	6 リフレクション	0.5
創作パート	7 地元店主による出前授業▶地域やお店の課題を知る	1
	8 グループ活動：新聞一面広告を制作する	5
	9 店主へのプレゼンテーションとフィードバック	3.5
	10 リフレクション	0.5

*年間のスケジュールによって、分析パートのみの場合もある

<生徒たちの分析>

2023年分析パート：A~Eを選択すると、分析プレゼンテーションのスライドに飛びます。



[Six TONES](#)



[講談社](#)



[MISAWA](#)



[GIRLS KEIRIN](#)



[LOUISVUITTON](#)

DP Japanese A Language & Literatureでは、最終試験で紙媒体の広告の分析が出題されることが多く、このユニットで学んだことをそのまま分析スキルとして活かすことができます。（DP English A Language & Literatureの履修者は、このユニットでの学びがそのまま活用できたということをよく話しています。）しかし本校では、Japanese A Literature を開講しており、このユニットで学んだことは直接には生かされ

ません。しかし、一つの製作物について「多様な視点で分析する」ことをわかりやすく実感し、作る側と受け取る側の関係に気づくことができます。ビジュアル・テクストで実感することで、小説や詩、戯曲などの分析でも、アプローチのイメージを持ちやすくなるのだと思います。これは、DPの「作者・読者・テクスト」の関係を理解する上で非常に重要な経験になります。

また、創作パートでは地域の店主の方のご協力を得て、生徒たちは地域の課題(少子高齢化・商店街の不活性など)やお店の課題について実感を持って、「広告で課題解決」に挑戦します。生徒たちが活発に話し合い、協力し、ターゲットを絞り、訴求力のある写真を撮るためにアポイントをとったり、再度店主にインタビューをしたり、コピーを練ったりと、生き生きと活動する姿を見ることが何よりも楽しいです。架空の商品やお店ではなく、現場の生の声をもとに考え、形にし、フィードバックをもらう経験は、「国語」という枠を超えてさまざまなスキルにつながります。このパートでの学びはその後のSAやCASで存分に発揮されます。

＜生徒たちの作品＞

2022年創作パート：和菓子 兎月苑（三島市）



2019年創作パート：株式会社 杉初水産（沼津市）



【事例2】

対象：MYP Year5 (高校1年)

ユニット：歌詞とMV(ミュージックビデオ)

重要概念：コミュニケーション

探究ステートメント：効果的なMVは、歌詞や曲の世界観を伸展させ、新たな解釈を視聴者にもたらす。

＜ユニットの構成＞

構成	活動内容	目安時数
分析パート	1 詩のグループ分析（『I was born』など）プレゼン&ディスカッション	5
	2 詩のコメント執筆	3
	3 歌詞とMVの分析① 藤井風『何なんw』	1
	4 歌詞とMVの分析② Official髭男dism『Pretender』	1
	5 MVについて知る▶MVの分類	1.5
	6 リフレクション	0.5
創作パート	7 課題曲発表・グループ分け RADWIMPS『君と羊と青』/ はっぴいえんど『あしたてんきになあれ』	1
	8 グループ活動：選択した1曲のMVを制作する	5
	9 プrezentation&全体ディスカッション	3.5
	10 リフレクション	0.5

本校では、中学MYPで段階的に詩の鑑賞・分析を行っており、高校では詩の分析のレベルアップと、歌詞

の分析に挑戦します。ここ数年、DP最終試験において歌詞が出題されることが増えており、この段階で歌詞の分析に触れておくことはDPの準備としても効果的です。

藤井風『何なんw』は、一見恋愛の歌詞に読めるテクストで、一旦生徒はそのような解釈をします。その後MVを鑑賞し、初めの解釈との違和感を覚え再解釈します。そして、藤井氏自身が作品について語った動画を視聴して種明かしをします。Higher Selfという存在に驚き、すぐに恋愛と解釈しがちな我々の認識を覆されます。作者の意図と受け手側(読者)のズレを感じ、作品は作者の手を離れて読者に読まれ新しい解釈が生まれるということ、作者の意図を我々は100%理解できないことを体感します。

次に扱うOfficial髭男dism『Pretender』は映画の主題歌にもなった作品で、多くの生徒が聞いたことのあるラブソングです。歌詞を読み、生徒たちは細かな表現から「君」と「僕」の2人の関係性について考察します。次にMVを鑑賞します。男性2人と女性1人の三角関係のようなストーリー性のある内容です。一見、生徒たちの最初の考察と合致するように見えるのですが、歌詞の内容とMVの結末がマッチしません。そこで、この歌詞とMVの分析に「クィア・リーディング」を適用した阿部幸大氏の解説を紹介します。生徒たちにとっては、まさに「目から鱗」の体験です。我々が普段いかに固定観念でものを見ているか、MVによってその解釈の余地に気づけるという意味でも、MVの価値に気づきます。

二つの作品で、歌詞とMVについて理解を深めたのちに、創作パートへ入ります。今回は2つの課題曲からどちらかを選択してグループでMVを作りました。グループで歌詞の分析をさまざまな角度から試み、新しい解釈を加え、オリジナルのMVを制作します。最後はできあがったMVをクラスで鑑賞し、解説を聴きます。他の教科の先生も招待して、ここでのディスカッションは大いに盛り上がります。生徒たちは、テーマ決め、絵コンテ描き、撮影・編集と分担して作業を進める中で、天候や時間帯の違いに苦労したり、細かな修正のために撮り直したり、撮影場所を予約したりと、チームワークとスケジュール管理が重要であることも実感します。わいわいと楽しく取り組みながらも、一つの作品をグループで作り上げる難しさに情動管理の重要性に気づく生徒もいます。

今回紹介した2つの授業では、ただ分析をするだけでなく実際に作ってみることで、作品への理解が深まり、作り手側を経験することで、意図が思うように伝わらないもどかしさや表現と解釈の幅広さを実感します。だからこそ、生徒たちの「作者の選択に注意深くあることを大切にする姿勢」が育つと感じています。そして、いわゆる「国語」のスキルだけでなく、DPを乗り越えていく上で重要なさまざまなATL(Approach to Learning)スキルを成長させることにつながっていると考えています。

私は普段から、ユニットごとのリフレクションを生徒に字数制限なく書いてもらいますが、この2つの授業では、どの生徒も最低1,000字は書いて提出してくれます。多くの学びを得た興奮が伝わるもの、得た学びを他にどのように活かせるか（これは転移が意識されている）冷静に分析しているもの、学びが多すぎて消化不良でモヤモヤしている状態のものなど、その時の彼らの思いが言語化されており、私にとっても大変貴重なフィードバックになっています。そして、リフレクションを読みながら、「やっぱりMYP楽しいな！」と毎回思います。

参考

「誰もが見やすい広告制作を目指して ユニバーサルデザインの視点から」 静岡新聞社 地域ビジネス推進局2014.7 第1版 https://www.edi-s.co.jp/pdf/koukoku_seisaku/manual/ud_guide.pdf

「自己認識としてのメディア・リテラシー 文化的アプローチによる国語科メディア学習プログラムの開発」 松山雅子 編著2005年5月発行

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/book/book/cate5/cate509/sho-149.html>

YouTube動画 藤井風-“何なんw” Official Video

<https://www.youtube.com/watch?v=Nt6ZwuVzOS4&authuser=0>

YouTube動画 “何なんw”って何なん Kaze talks about “Nan-Nan”

<https://youtu.be/cVmLTIXsrzQ?si=RYnEr-j8BSzGWJ3->

YouTube動画 Official髭男dism - Pretender [Official Video]

<https://youtu.be/TQ8WIA2GXbk?si=hVd50QC3VsZaRq7x>

Official髭男dismの大ヒット曲「Pretender」を同性愛から読み解くJPOPと「クィア・リーディング」の可能性阿部幸大 2019/09/07

<https://gendai.media/articles/-/66965>

最終閲覧日：2025/10/01